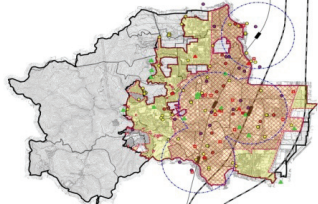


分野	41	市街地	通番 87
施策	413	都市機能の再創造	
5年後の目標		西山天王山駅周辺をおもてなしの玄関として、人と文化の流れをまちに誘導し、新たな交流とにぎわいを生み出している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	コンパクトシティ推進		会計	款	項	目	4,300,662	まちづくり政策室
			一般	8	4	1		
事業の概要								
<p>持続可能な都市経営を可能とするために、都市全体を見渡しなが、居住や都市機能を誘導すべき区域を設定し、誘導施策などを定める立地適正化計画の策定を行います。</p> <p>また、計画推進として、都市機能立地支援事業及び都市再構築戦略事業の検討を行います。</p>								


令和元年度の取組							
D (取組)	指標	立地適正化計画の推進				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	都市の現状分析を基に、居住誘導区域及び都市機能誘導区域の素案が完成(平成27年度)	目標	立地適正化計画の策定	立地適正化計画に基づく、都市再生整備計画の策定	都市再生整備計画に位置付ける事業の検討	都市再生整備計画に基づく事業実施	都市再生整備計画に基づく事業実施
実績		立地適正化計画の策定	都市再生整備計画(案)の策定	都市再生整備計画の策定	都市再生整備計画に基づく事業実施	立地適正化計画に基づく都市再生整備計画の検討	
<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に策定した都市再生整備計画(西山天王山駅周辺地区)に基づき済生会京都府病院の移転に関する調整等を行いました。 コンパクトシティの更なる取組として、JR長岡京駅から阪急長岡天神駅を結ぶ長岡京市の中心拠点における都市再生整備計画を新たに策定しました。 					立地適正化計画 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和元年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		鉄道三駅乗降客数			<ul style="list-style-type: none"> 西山天王山駅の乗降客数が継続して増加しています。 三駅の乗降客数は前年度に比べ微増傾向にあります。
達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 済生会京都府病院の移転に関して建設地を確保しました。 都心ゾーンにおける都市再生整備計画を新たに追加策定することで、JR長岡京駅から阪急長岡天神駅周辺における関係事業の特定財源を確保しました。 		
課題等	都市再生整備計画に基づく事業が計画通りに実施できるように、関係機関と調整しながら進めていく必要があります。				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
1: 計画通りに進めることが適当	<p style="text-align: center;">対応策等</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に基づき病院建設事業、道路事業、駅前広場事業等を実施します。 実施に際しては事業実施機関と工程調整等を行い、適切な事業推進を図ります。

分野	41	市街地	通番 88
施策	413	都市機能の再創造	
5年後の目標		西山天王山駅周辺をおもてなしの玄関として、人と文化の流れをまちに誘導し、新たな交流とにぎわいを生み出している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	にぎわいと交流の拠点整備		会計	款	項	目	34,851,436 (土地区画整理事業)	まちづくり政策室 交通政策課
			一般	8	4	1		
			一般	8	4	1	2,538,200 (高速長岡京バスストップ機能向上事業)	
事業の概要								
3駅を利用した都市機能の再編を目指して計画的な整備を推進します。 下海印寺地区の土地区画整理事業への技術支援を引き続き行います。 高速バス停の更なる機能強化を図ります。								



令和元年度の取組							
指標	西山天王山駅、長岡京IC周辺の計画的整備の推進					単位	—
現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2	
D (取組)	目標	測量及び下海印寺地区土地区画整理準備組合への技術支援	下海印寺地区土地区画整理組合設立支援	下海印寺地区土地区画整理組合への技術支援	下海印寺地区土地区画整理組合への技術支援	土地区画整理事業の完了	
	実績	区画整理事業における検討・調査・測量の実施	下海印寺地区土地区画整理組合設立支援	下海印寺地区土地区画整理組合への技術支援	下海印寺地区土地区画整理組合への技術支援		
<ul style="list-style-type: none"> 下海印寺下内田土地区画整理事業の推進を目的として、理事会及び総会の開催支援、事業パートナーである済生会京都府病院との調整、及び近隣住民への説明会を開催しました。また、水路工事の発注及び工事監督を行いました。 高速バス停（高速長岡京）の機能強化を図るため、有識者や交通事業者を含む関係行政機関・団体への意見聴取を行うとともに、有識者、交通事業者及び関係行政機関等で構成された高速長岡京バスストップ機能向上検討会議を開催し、中距離路線の検討を行いました。 					近隣住民への説明会 		

施策の「5年後の目標」に対する評価			
令和元年度の達成状況			
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド
		鉄道三駅乗降客数	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> 下海印寺地区土地区画整理組合が仮換地指定を行い、保留地を済生会京都府病院へ売却しました。 土地区画整理事業に係る工事の設計及び水路工事を実施しました。 バスストップの利用促進として、中距離路線の四国便の可能性について検討会議で確認しました。
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業に係る工事及び済生会京都府病院建設工事が円滑に進むように引き続き支援が必要です。 高速長岡京乗入れに伴うバス会社の費用負担について、制度面の見直しが必要です。 	

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は済生会京都府病院の建設工事と調整しながら土地区画整理組合への技術支援を継続します。 高速バスストップの制度面の見直しについて、国への働きかけや引き続き新規路線の検討を進めます。

分野	41	市街地	通番 89
施策	413	都市機能の再創造	
5年後の目標		西山天王山駅周辺をおもてなしの玄関として、人と文化の流れをまちに誘導し、新たな交流とにぎわいを生み出している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	空き家対策事業		会計	款	項	799,399	都市計画課
			一般	8	4		
事業の概要							
<p>空家等対策協議会を設立し、本市の状況に応じた空き家等対策計画や空き家等対策条例を制定します。</p> <p>山麓住宅ゾーンの良い住環境での高齢者世帯と子育て世帯の住み替えをスムーズに行うことで、空き家の発生を抑制するとともに利活用に係る改修費等の助成制度等の導入を検討します。</p>							

令和元年度の取組							
D (取組)	指標	空き家対策事業の進捗				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	平成28年度新規事業 (参考:空き家率:9.8%(平成25年度住宅土地統計調査))	目標	空き家の実態調査	空き家等対策協議会設立 空き家等対策計画の策定	空き家等対策条例の制定 空き家等の利活用件数3件(累計)	空き家等の利活用件数6件(累計)	空き家等の利活用件数10件(累計)
実績		空き家の実態調査 空き家所有者への意向調査等	空家等対策協議会の設立 空き家等対策計画の策定	空き家等対策条例の制定 空き家等の利活用件数5件(累計)	空き家等の利活用件数8件(累計)		
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクの利便性を高めるため、長岡京市空き家バンク設置要綱を改正し、申請書の簡素化、市ホームページからの利用登録を可能にしました。 ・空き家所有者から23件の相談があり、そのうち10件について空き家行政プラットフォームの協力事業者を紹介しました。 ・公益社団法人全日本不動産協会と共催で、「空き家セミナー＆個別相談会」を実施しました。 ・居住支援協議会主催で「高齢者等の住み替え等相談会」を実施しました。 ・空き家行政プラットフォームの制度を周知するため、協力事業者の協力を得て、制度紹介の動画を市ホームページに掲載し、新たな啓発を行いました。 					空き家行政プラットフォーム  空き家の悩みを解決! 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和元年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		市内空き家数	・少子高齢化により、住宅供給過剰や住み替え等による空き家の件数は、今後増加すると思われます。	204
	達成度合	A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家所有者からの相談に対し、空き家の特性に応じて不動産業者の紹介、空き家バンクへの登録を勧めました。 ・令和元年度に空き家相談を受けた案件のうち、2件は除却後新築住宅が建設され、1件は新たな居住者が入居され、利活用件数は3件となりました。 ・平成30年度までの5件と合わせて、累計8件の利活用に繋がりました。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から空き家バンクの運用を開始していますが、物件登録数は0件、利用希望者登録数は10件(令和元年度末)であり、物件がない状態が続いており、成約には至っていません。 ・流通しづらい物件の特徴として、建築基準法に適合しないものや長屋建てのもの、また所有者の事情(共有者間の意思統一が図れない、相場と希望価格の乖離)などがあり、これらをどのように流通させるかが課題です。 			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1:計画通りに進めることが適当 対応策等 <ul style="list-style-type: none"> ・本市の空き家の多くは不動産流通しており、空き家バンクに登録される物件はほとんどないため、行政プラットフォームの協力事業者と連携して、空き家の管理や利活用を進めていきます。 ・空き家バンクに登録される物件は、不動産流通しづらい物件である可能性が高いため、一般の不動産流通に捉われない柔軟な対応を進めていきます。 ・空き家セミナー、出前ミーティングやチラシの配布等を通じて、空き家政策の啓発を継続していきます。

分野	41	市街地	通番 90
施策	413	都市機能の再創造	
5年後の目標		西山天王山駅周辺をおもてなしの玄関として、人と文化の流れをまちに誘導し、新たな交流とにぎわいを生み出している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	公共施設検討事業		会計	款	項	目	15,486	公共施設 再編推進室
			一般	2	1	5		
事業の概要								
施設配置の最適化を進めるため、長岡京市公共施設等総合管理計画に基づき、効率的で妥当な施設の更新、維持と跡地活用など「長岡京市公共施設等再編整備構想2017」を策定します。								

令和元年度の取組							
D (取組)	指標	公共施設再編整備構想実施計画策定				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	総合管理計画策定 (平成27年度)	目標	カルテを元に個別施設の内容精査(所管ごとの施設の老朽化度等)	公共施設再編整備構想の策定	個別施設の状態の詳細把握及び構想に基づく進捗管理、見直し	個別施設計画の策定支援及び構想に基づく進捗管理、見直し	構想に基づく進捗管理、見直し
実績		カルテの内容を精査し、ヒアリングシートを作成しました。また、個別施設の現状と方向性を調査しました。	長岡京市公共施設等再編整備構想2017を策定しました。	公共施設カルテの更新を行いました。また、個別施設計画の策定に着手しました。	公共施設カルテの更新を行いました。また、10施設分の個別施設計画が完成しました。		
<ul style="list-style-type: none"> 個別施設の状態の詳細把握のため、公共施設カルテを最新の情報に更新しました。 昨年度に引き続き「長岡京市公共施設等再編整備構想2017」に基づいて個別施設計画の作成を進めました。 未完成の施設についても、課題の整理を行い、個別施設計画の素案を作成しました。 旧新田保育所跡地の暫定利用に関し、地元及び庁内で協議を進めました。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和元年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド			対応頁
		—	—	—	—	—
達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設カルテを最新の情報に更新することで、個々の施設の状態の詳細把握ができました。 「長岡京市公共施設等再編整備構想2017」に基づき、中央公民館や南部地域防災センターなど10施設について個別施設計画が完成しました。 未完成の施設についても、各施設が抱える課題について整理することができました。 			
			<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度末までに25施設の個別施設計画を作成する必要があります。 			
課題等						

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> 各施設における個別施設計画完成に向けて、所管課と密に連絡を取りながら進捗状況の把握及び課題の解決に向けた支援を行い、全施設の令和2年度末までの完成を目指します。また、公共施設跡地の活用について、暫定利用も含めて検討を進めます。